

しさん 44才 (593年産れ)

No.

Date . . .

歳森先生へ

ご無沙汰しております。お陰様で子どもは元気に成長しております。

不妊治療専門のクリニックに通い、妊娠反応が陽性で喜んだのも束の間、初期に流産ということが続き、年齢も気になり始めた頃、歳森薬局を知りました。漢方を飲みながら通院を続けましたが、またしても初期に流産。計4回流産した後、大学病院で調べてもらったところ、不妊症の一つ抗リン脂質抗体症候群と判明。次回妊娠がわかったらすぐ流産予防の注射を開始ということになりました。「これでもう流産しなくて済む」と思ったのですが、次の2回の妊娠は注射をしたにもかかわらず流産。子宮内容除去手術(掻爬手術)の時、染色体検査をしてもらったところ、胎児に染色体異常があったため、注射も効かなかったとのことでした。まさか自分が6回も流産するとは思っていませんでした。どれだけ涙を流したことが。

その後も漢方と体外受精を続け、胚移植には至るものの、子宮内膜が厚くならず、なかなか着床しませんでした。医師から「子宮内膜が薄いのは、何度も掻爬手術をしたせいかもしれない」と言われ、「無責任なことをした結果、望まない妊娠をして中絶したわけではないのに…」とまたまた泣けてきました。しかし、「卵巣年齢は実年齢より若いだろう」という医師の言葉で、歳森先生の励ましを支えに(歳森先生には毎回元気を頂いていました)、不妊治療を続けました。

6度目の流産からほぼ4年後、スゥに妊娠反応陽性、流産予防の注射と漢方で無事出産までこぎ着け、高齢出産ながら、元気な赤ちゃんを授かりました。

漢方を始める時考えたことは、不妊治療をしても子どもかできなかった場合、

漢方を飲んでいなかったら「もし漢方を飲んでいたら子どもかできたかもしれないのに」という悔いが一生残るかもしれないということでした。それよりは、出来るだけのことをしておこうと思いました。

子どもを望んでいる方々が子どもを授かりますようにと願っております。

歳森先生、どうもお世話になりました。ありがとうございました。